

Shockwave (ショックウェーブ:血管内石灰化破碎術)

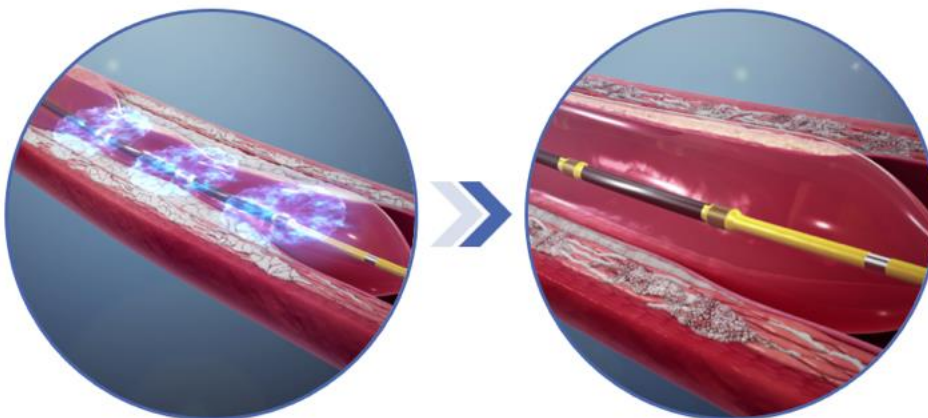
一般的な狭心症の治療法として、冠動脈の狭窄部位に金属製のステントを留置する冠動脈形成術(PCI)が行われています。しかし、動脈硬化が進行して病変にカルシウムが沈着し、血管が骨のように硬くなってしまう石灰化病変の場合、ステントが十分に拡張せず、十分な治療成績が得られなかったり、治療に伴う合併症が増えてしまったりする可能性があります。従来、そのような石灰化病変には、石灰化を削り飛ばすロータブレードやダイヤモンドバックで治療を行っていますが、高度な治療技術が必要であり、場合によっては効果的な治療効果が得られない場合や、削れたカルシウムが末梢に流れて、毛細血管で目詰まりを起こすこともあります。

この度、当院で導入されたショックウェーブシステムは、石灰化病変にバルーンカテーテルから衝撃波を照射することで、硬くなった血管に微細な亀裂を入れ血管を柔らかくする事で、その後のステントが拡張しやすくする治療法です。特徴としては、合併症が少なく、安全かつ効果的な治療効果が得られる治療方法であり、慢性期の治療成績の向上も期待できます。これにより、心機能の低下などの理由で、従来のロータブレードやダイヤモンドバックでの治療が困難だった患者さまにも、安全な治療が提供できると期待されています。

○ ショックウェーブ本体とカテーテル



○ 衝撃波の照射



受診を希望される方は、かかりつけ医からの紹介状をご用意いただき予約センターへご連絡ください。【予約専用ダイヤル 0120-33-4895】